

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度第2回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和4年11月9日(水) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時30分 閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 第1・第2研究室
議 長 氏 名	会長 清水繁
出席委員(者)氏名	清水繁、大竹千里、吉田穂高、森谷秀一、石川京子、浅地由紀子、 松田千代、青山衣津子、芳賀隆夫
欠席委員(者)氏名	野崎皓布
説明者の職氏名	館長 平岡康子、主幹 萩原智明、副主幹 松橋茂子 西武分館長 本田潤一、金子分館長 内野千春、 藤沢分館長 上村紳一郎
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) いるまドックについて (2) 9月定例市議会の一般質問について (3) 令和4年度上半期の事業報告について (4) 図書館システムの更新について (5) 電子図書館について (6) 宮寺配本所の有効活用について 4 その他 5 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	・ 次第 ・ いるまドックについて (P1～P5) 資料1 ・ 9月定例市議会の一般質問について (P6～P7) 資料2 ・ 令和4年度上半期の事業報告について (P8) 資料3 ・ 入間市図書館システム更新業務委託に係る業者決定について (P9) 資料4 ・ 電子図書館について (P10) 資料5 ・ 宮寺配本所の有効活用について (P11) 資料6

事務局職員職氏名	部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、館長 平岡康子、主幹 萩原智明、 副主幹 松橋茂子、主任 佐藤敏章
会議録作成方法	要点筆記方式

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1.開会

2.会長及び教育部長あいさつ

3.報告事項

- (1) いるまドックについて
萩原主幹より報告
- (2) 9月定例会市議会の一般質問について
松橋副主幹より報告
- (3) 令和4年度上半期の事業報告について
萩原主幹、本田分館長より報告
- (4) 図書館システムの更新について
萩原主幹より報告
- (5) 電子図書館について
萩原主幹より報告
- (6) 宮寺配本所の有効活用について
萩原主幹より報告

4.その他

- (1) Wi-Fiの設置について(浅地委員からの質問)
平岡館長より回答
- (2) 健診時の本の紹介の事業について(石川委員からの質問)
平岡館長より回答

5.閉会

会議録(3)

発 言 者	発 言 内 容
萩原主幹	<p>報告事項</p> <p>(1) いるまドックについて (資料1に基づき説明)</p> <p>入間市公開事業見直し「いるまドック」は、本市が実施している事業について担当課職員と外部有識者で構成する評価者が公開の場で議論し、その内容を踏まえて、無作為抽出で選ばれた市民の方が事業の在り方について判定評価するものです。実施手順と判定区分等は資料P1～P2のとおりです。今年度のいるまドックでは、図書館の主な事業として、図書館資料の貸出事業、移動図書館事業、子どもの読書活動推進事業の三つを掲げて、今後の事業の在り方について貴重なご意見を頂きました。結果報告についてはP5のとおりで、「現行通り・拡充」が7名、「要改善」が4名、「不要・凍結」「国・県・広域で実施する」という判定人は0名でした。図書館の取り組みについては高い評価をいただきました。この結果を次年度以降の予算編成や事業展開に生かし、より効果的で効率的な図書館運営を目指してまいります。</p>
森谷委員	<p>「現行通り・拡充」という評価が大きかったということで、日々の図書館の運営が評価されたものと理解しました。「要改善」のところでは、どのような意見があったのか教えて頂きたい。</p>
平岡館長	<p>市民判定人の皆様から頂いた意見を何点か紹介します。</p> <p>「縦割りではなく、全市民に対してきめ細やかな事業を実施している。」「図書館へなかなか行けない高校生やICTへの対応が難しい高齢者等を取りこぼさないで欲しい。」「本の貸し出しにとどまらず、読み聞かせや資料の取り寄せなど、多岐にわたっていると感じた。」「以前調べ物で助けられたことがある。」「図書館は、今回テーマとなったどの事業よりもDXを進める必要が目の前に迫っている。」</p> <p>このような意見を頂きました。</p>
清水会長	<p>中高生を中心とした10代に向けて、資料の充実を図るなど、図書館として方向性は、何かあるのでしょうか。最近の高校の図書館も充実しているようですが、公立図書館としてどのように充実させるのか、お考えをお聞かせください。</p>
平岡館長	<p>図書館が考える高校生の不読率低減対策についてお答えします。</p> <p>1点目として、高校生のボランティアを募集し、図書館の仕事を体験できる事業の実施や、高校図書館との連携を図りたいと考えています。</p> <p>2点目として、高校図書館と図書館が連携して高校生へおすすめの本を展示することにより、高校生が本に興味を持ってもらうように努めたいと考えています。また、今年度の5月に図書館職員と市内の高校司書教諭の方々</p>

発 言 者	発 言 内 容
松橋副主幹	<p>の意見交換の場を持ち、今の高校生の読書のニーズなどについて話し合いをしました。こうしたことを踏まえて、高校生へ興味を持ってもらえるような対策をとりたいと考えています。</p> <p>(2) 9月定例市議会の一般質問について (資料2に基づき説明)</p> <p>9月に開催されました定例市議会に、長谷川渉議員より「市立図書館の熱中症対策について」、3点の質問があり、教育部長より答弁いたしました。</p> <p>質問1は「現在の熱中症対策の状況について」です。</p> <p>答弁の内容は、熱中症対策の基本は、水分補給及び、室内の温度と湿度の適切な管理であるという認識から、図書館で実施していることについて述べました。水分補給については、本館は館内の休憩室で、分館は公民館等のロビーの利用を案内しています。図書館内では、温度及び湿度をこまめに確認し、空調により適切な室内環境を保つようにしているほか、館内にポスターを掲示し、利用者への注意喚起を行っています。8月には1日に4回行った温度測定で、館内の温度は安定しているという結果が出ています。空調が正常に作動していれば、館内で熱中症になるリスクは低いと考えます。</p> <p>質問2は「近隣市の熱中症対策の状況について」です。</p> <p>答弁の内容は、ダイア4市の状況を述べました。</p> <p>全市とも適切な温度及び湿度となるよう、空調で調整しています。</p> <p>水分補給の状況については、所沢市・飯能市が蓋つきの容器であれば館内何処でも可能としています。狭山市では、7月から9月の期間、学習席及び補給可能なエリアを限定した上で、蓋つきの容器であれば可能としています。日高市では、館内での水分補給は一切不可としています。</p> <p>質問3は「今後の方針について」です。</p> <p>館内の温度及び湿度のこまめな確認と空調による適切な室内環境を保持することと、水分補給のみであれば、容器を限定すれば資料の汚損はある程度回避できると考えられることから、他市の事例を研究して検討していきたいという内容でした。</p>
芳賀委員	<p>このテーマは過去何度か提案をさせて頂いており、関心を持っています。</p> <p>これを機会に前向きに取り組んで頂ければありがたい。近隣4市のうち3市が水分補給について容認しています。水分補給については重要と認識しているから容認しているのだと思います。私が、自治会役員をしていた今年の夏ごろに、地区の人から意見を聞く機会がありました。その中で、水分補給についての質問がありました。その内容は、母親が図書館に行く子供に水筒を持たせ、こまめに水を飲むよう言い聞かせて持たせたが、帰ってきて水筒を確かめたところ、水が減ってないということがあったそうです。子供に確認したところ、図書館では水が飲めないので我慢したと言っていたそうです。その母親は、私に「図書館では水が飲めないことを初めて知りました。」と言っていました。答弁では、「水分補給のみであれば、容器を限定すれば資料の</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>汚損はある程度回避できると考えられる」と言っています。回避できることをある程度認めているということですね。他市の事例を研究して検討していきたいということですが、この状況が理解できるのであれば、他市の事例を考えなくても、そんなに難しいことではないのではないかと思います。館内で熱中症になる人が出れば大きな社会問題になることが考えられます。資料と命を比較することもないなと思いました。他市と比較しなくても、自分たちの判断でできる事だと思います。次の夏を迎えるころまでには、自由に水分補給ができる、安心して図書館へ送り出すことができるようになればいいなと思いましたので、どうか英断をお願いしたいと思います。</p>
平岡館長	<p>今後答弁のとおり検討をしてみたいと思います。</p>
吉田委員	<p>実際に、夏の時期に小学生が、水分補給ができなくて体調を崩した事案はあるのでしょうか。</p>
平岡館長	<p>今までにそうした事案はありません。 水分補給については、本館では休憩室があり、そちらを案内しています。また、入り口を出たところにソファがありますので、そうしたところで水分補給をお願いしています。</p>
吉田委員	<p>事案がないのであれば、閲覧室で水分補給をできない理由を説明して、理解を得ることが大事ではないかと思います。また、説明ができないのであれば許可することもやむを得ないのではないかと思います。</p>
萩原主幹	<p>(3) 令和4年度上半期の事業報告について (資料3に基づき説明) 上半期では、昨年度までの新型コロナウイルス感染症対策により中止せざるを得なかった多くの事業を再開しています。 主な事業として市内公立小学校2年児童を対象とした図書館利用教室、同じく小学校3年児童を対象にした図書館施設見学、市内高校司書教諭との連携会議を実施しています。また、小学生向けに作成してきたあれこれブックガイドですが、今年度新たに中学生向けも作成して7月から配布をしています。その他、資料に記載した様々な事業を実施しています。</p>
本田分館長	<p>指定管理者として、年度計画に挙げていた図書館事業のほか、昨年度コロナ禍で中止や延期していた事業もすべて実施できました。 西武分館事業では、図書館利用促進のため、一般利用者向けや児童向け講座の充実を図りました。特に、昨年から持ち越した生活講座「エンディングノートは始まりノート」、連続講座「渋沢栄一」の第2回、郷土歴史講座の「西武線の歴史」は、いずれも図書館利用者層に合致した企画で、参加者に大変好評でした。児童向けの工作会、おたのしみ会もボランティアの皆様の協力</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>により開催することができました。地域連携事業として、公民館や子育て支援センターへの出張講座の実施、地元の西武中学校からは多くの生徒さんのボランティア受け入れを継続して実施しています。</p> <p>金子分館では、子育て世代を始めとした児童サービスの強化をしております。新たな試みとして、二本木公民館で活動している「子育て支援センターむぎ」との連携を進め読書支援を開始いたしました。また、今年度から子ども向け工作会を季節ごとに行い、さらに古典文学講座、地域ボランティアの協力による「映画会」の実施、地域包括支援センター等の読書支援を行いました。各事業とも好評を得ております。</p> <p>藤沢分館では継続事業として、お話ボランティアグループのトトロとの定例のおはなし会や、藤沢朗読会は人数制限しつつ実施しております。自主事業は、地域向けを意識して、郷土講座「神社の一年」、歴史講座「西武線の歴史」、文化講座「埼玉の酒蔵 歴史探訪」、暮らしの講座「アロマによる生活へのうらおい」を実施し盛況でした。</p> <p>中学・高校生の利用も多く、試験前臨時学習室、6月中旬から8月上旬までは「夏休み臨時学習室」を開催しました。</p> <p>分館共通事業としましては、コロナ禍での分散型事業「本の帯コンテスト」の実施、読書推進事業として「ビブリオバトル」を開催しました。特に初開催の「ビブリオバトル」では、プレゼンテーションをしたバトラーだけでなく、観客審査員として参加された皆様、西武中学校校長、教頭、ボランティア参加の中学生の方々からも大変好評をいただきました。来年度以降も継続実施をしていく予定です。</p> <p>最後に、全館共通事業として「第2回入間市 図書館を使った調べる学習コンクール」では、前年比124%となる市内全小学校児童合計256名の参加がありました。学習支援事業として「調べる学習講座」は図書館4館以外に3公民館会場を増設し20講座を開講、自宅学習でもできるように入間市公式YouTubeに3本の学習動画を作成し、公開しました。応募いただいた調べ学習作品も昨年に比べ格段にレベルの高いものになりました。今年も年内に優秀作品集を作成し公開する予定です。</p> <p>今年の受賞作の合計は、最優秀賞が3名、優秀賞が5名、奨励賞19名、努力賞84名、計111名の方たちを表彰します。</p> <p>以上3分館の上半期事業報告です。</p>
吉田委員	<p>調べる学習コンクールの講座についてですが、今、学校では子どもたち自らが課題を見出し、工夫し、探求を通じて学び取る探求型の学習を、小学校、中学校とも総合的な時間で行っています。調べる学習講座は、それを補完するのに有効な取り組みであり、4館でやっただけに感謝しています。ぜひ継続していただきたいと思います。</p>
平岡館長	<p>調べる学習コンクールについては今後も継続して実施してまいります。また、学校の協力を頂き、多くの作品を出品頂いていることに感謝申し上げます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
松田委員	<p>す。今後も学校と連携して、このような事業を進めていきたいと思っておりますので、ご協力願います。</p> <p>今年、西武分館で行ったビブリオバトルに参加しました。これはとても楽しい催しで、年代も高齢者から若者までおり、色々な推し本を出していただいて、読書の幅の広がりを感じる部分がありました。今回は西武分館がパイロット館の役割であったようだが、様々な場所でやっていただいて、そこから選抜して、市全体のビブリオバトルを行い、インフォメーションしていくことで、本の面白さなどを様々な立場の方に出していただけると面白い催しになると思います。5分間で推し本を推さなければならないので、プレゼンテーションの練習にもなると思います。大人だけではなく、中学生や小学生も参加できるようになると楽しい催しになると思います。</p>
本田分館長	<p>私の図書館長歴は6年ですが、ビブリオバトルの開催者としては初めてでした。うまくいくのか不安はありましたが、図書館が好き、本が好きという皆様から、色々な角度で本の面白さを伝えて頂く良い機会であったと思います。今回はテスト的な事業でしたが、来年からは事前に広報をして、活動を広げていきたいと思っております。</p>
森谷委員	<p>松田委員からビブリオバトルについて内容を伺って面白いと思いました。今回は3分館でやっていますが、できれば次回は、本館でもやっていただければ、私も是非参加したいと思っております。</p>
平岡館長	<p>今回は指定管理者の提案事業ということで行ったものです。分館長よりビブリオバトルの報告を受けて、大変効果的な事業と聞いており、今後本館でも実施していきたいと考えております。</p>
青山委員	<p>以前、調べる学習コンクールについて、もしコロナが流行したら行けないので、YoutubeとかDVDなどで講座を視聴できないか提案したことがありましたが、3本の動画があることも今まで気づかずにいました。今後は、広報や館内への掲示などにより周知してくればわかりやすいと思います。またその他時間があれば参加したいと思う事業がありました。ビブリオバトルについても楽しかったらうなと思っておりました。今回は、分館での事業でしたが、本館で実施すれば盛り上がるのではないかとお思いました。例えば、本館近くに小学校が2校あるので、夏休みも楽しめるし、夏休み中に予選を行い9月に本選を実施しても良いのではお思いました。</p>
平岡館長	<p>青山委員から、調べる学習について動画配信したらどうかとの意見を頂き、今回作成いたしました。PRが不足していたと感じています。周知方法については工夫して、多くの方に見て頂けるよう努めていきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
清水会長	<p>浅地委員は、おはなしの会関係で何かご意見はありますか。</p>
浅地委員	<p>私が、おはなしの会に行く時は、参加者がほぼ2～3人と少ないです。第1土曜日に行っていますが、少ない理由は、はっきりしていません。今人数制限がありますけど、続けていますので来て欲しいという気持ちはあります。お子さんたちは、土曜も日曜も忙しいようなので、なかなか難しいですね。</p>
萩原主幹	<p>(4) 図書館システムの更新について (資料4に基づき説明)</p> <p>図書館システムを令和5年1月に更新します。委託事業者を適正かつ公平に選定するため、入間市図書館システム更新業務委託業者評価委員会を新たに設置し、公募型プロポーザル方式にて、受託業者を選定しました。事業提案は市公式HP等により公募し、応募のあった3事業者が書類提出及びプレゼンテーションを実施しました。その業務実施能力を総合的に審査し、最も優れた技術提案があった事業者を優先交渉権者に決定しました。この優先交渉権者と、発注価格及び支払条件、仕様書に定める要件への対応、実施体制等の確認を行い、協議が整った段階で決裁を受け、受託業者として決定しました。</p> <p>この更新に伴い、システム機器の入れ替えや所蔵データの移行作業、また、システムの稼働状況の確認、操作方法の職員研修など、新システムへ移行するための準備期間が必要となります。この間、図書の貸し出しなど、図書館業務が実施できないことから、図書館本館及び分館、宮寺配本所及び移動図書館を臨時休館とするものです。</p> <p>期間は、令和4年12月15日(木)から令和5年1月4日(水)迄です。この期間には、年末年始を含む休館日6日間と通常の休館日3日間がございますので、システム更新の為の実質の休館日は12日間となります。</p> <p>なお、利用者への周知は、館内へのお知らせの掲示やカウンター窓口での声掛け、市公式ホームページ等により行ってまいります。</p>
森谷委員	<p>システム更新の話は、第1回協議会で紹介があり、市民が利用しやすいもの、あるいは、市民の意見があれば反映して欲しい、という意見を述べました。しかし、もう仕様が決まっていて無理だろうと思ったので、それ以上話はしませんでした。資料を見ると、令和5年の1月1日から令和9年の12月31日までの5年間で業者委託契約がされていますが、システム更新するのは5年間で1度だけで、あとの4年間は維持管理のみでシステム更新をしないか、あるいは、マイナーチェンジしていくのか。もし5年間のうちで、システムの改善が可能であれば、協議会又は別の機会を設けて、図書館職員だけの改善要求だけではなく、使用している市民の意見を反映できるようなシステム更新、或いは、維持にしていただければ有難いと思います。</p>
平岡館長	<p>契約については、5年間の契約ということで仕様が決まっていますが、5</p>

発 言 者	発 言 内 容
	年間で要望や改善できる点があれば、業者に要望してまいりたいと思います。予算の範囲内で可能なことであれば、承れたらと思います。
森谷委員	5年間のうちの1年目に大改修するのですか。
平岡館長	そのとおりです。
森谷委員	そのあとは維持管理となるのですか。
平岡館長	そのようなイメージです。
森谷委員	やはり、大改修の時にやらないと、維持管理のときでは難しいでしょうね。意見を聴いていただけるのであれば、その場を設定していただければ有難いと思います。
平岡館長	今回のシステム更新については、皆様の意見を聴く機会がなく、申し訳なく思います。次回、システムの入替えの時には、皆様の意見を広く頂戴しながら進めていければと考えています。今回のシステム更新にあたり、今まで以上に市民の皆様が使いやすいシステムになる予定ですので、利用して頂き、ご意見を頂戴できればと思います。
森谷委員	期待しています。
萩原主幹	<p>(5) 電子図書館について (資料5に基づき説明)</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して電子図書を更に約1,000冊購入します。電子図書の蔵書を更に拡充し、非来館による読書環境を提供して、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを軽減すると共に、読書活動の推進を図ろうとする、電子図書館の目的を達成するよう努めるものです。</p>
石川委員	自分は、スマホやパソコンよりも本は活字で読むほうなので、電子図書というものに馴染みがないのですが、議長はいかがですか。
清水会長	私も紙ベースの方が良い方ですね。
石川委員	でも1,000冊増えるというのは凄いですね。
平岡館長	入間市の傾向としては、未就学児から80代まで幅広い世代に利用されています。とくに70歳以上の利用者が多いのが入間市の特徴となっています。

発 言 者	発 言 内 容
石川委員	最新のものもあるのでしょうか。
平岡館長	利用できるコンテンツについては、新しいものがなかなか提供されていない状況ですが、高齢者の方に興味を持っていただいているところです。電子は電子の良さ、紙は紙の良さがあるかと思いますが、利用者の皆様に快適な読書環境を提供できるように努めてまいります。
大竹副会長	私は、利用させていただいていますが、いつでも読めるのは、借りに行く手間もなく便利だと思います。冊数が少ないこともあり、読みたい本が少ないので、これからも増やしていただければ有難いです。
石川委員	未就学児の登録は多いのでしょうか。
平岡館長	登録自体は、あまり多くはありません。児童書は提供できるコンテンツが少なく、会議資料にあるとおり220冊程度という状況です。補足ですが、電子図書は文字を読み上げる機能があります。
石川委員	図書館としては、文字を読み上げの機能については、どのようにお考えですか。
平岡館長	一般の小説などにも読み上げ機能がありますので、年齢にかかわらず、聞いていただくことができます。絵本は、やはり保護者の声で読み聞かせるのが良いと思います。
清水会長	電子書籍はまだ少ないということですが、その原因の一つに、著作権の問題があるのではと思います。著作権の権利期間が満了した場合は、電子書籍化しやすいのですが、著作権がある場合は著作権料が発生し、書籍が増えれば、著作権料というコストがその分だけ発生するので、その点が痛し痒しの部分だと思います。ただ、いつでもどこでも読めるのは素晴らしい点ですね。
大竹副会長	その分電子図書が充実すると、図書館に行く人が減ってしまう心配があり、そこも痛し痒しなのかなと思います。図書館としては、これから電子図書を増やしていく意向がありつつも、図書館の利用者を誘致するという点で難しさがあると感じますが。
平岡館長	紙は紙の良さ、電子は電子の良さがありますので、その点を見極めながら、また状況を考えながら、今後も電子図書の収集に努めていきたいと考えています。
(6) 宮寺配本所の有効活用について	

発 言 者	発 言 内 容
萩原主幹	<p>(資料6に基づき説明)</p> <p>過去の協議会でもご提案のありました、宮寺配本所の有効活用策の一環として、11月12日(土)に配本所において「おはなし会スペシャル」を開催致します。通常の本館で実施する絵本や紙芝居の読み聞かせの他、有名な「いないいないばあ」のびっくり絵本を作る、新たな試みを実施します。今後こうした事業を行って子育て支援などの地域課題の解決に向けた取り組みを実施して参ります。</p>
石川委員	<p>宮寺配本所ができて、本の数も大変多く、読み聞かせに良い本も多くあると聞いていました。実際に行ってみましたが、部屋の中は、周りに本があって、大きなテーブルがあり、椅子があるので、本を選ぶのに幅がないように感じました。部屋のレイアウトに何か意図はあるのでしょうか。</p>
平岡館長	<p>特に意図するものではありません。なかなか環境まで整えられていないところですが、かねてより協議会でもご意見を頂いていたところですので、今回、おはなし会を第一歩として有効活用に取り組んでいきたいと考えています。宮寺配本所の本ですが、年に1回入れ替えをする予定です。今回、11月に本を入れ替え、資料についてはなるべく新鮮なものを提供できるように努めているところです。</p>
石川委員	<p>今回、私が行った時には、小学生と赤ちゃん連れの方が立ち寄っていましたが、赤ちゃん向けの本を探すのは、ちょっと難しかったです。</p>
平岡館長	<p>レイアウト等については、工夫していきたいと思いますので、皆様から意見を頂戴できたらと思います。</p>
石川委員	<p>レイアウトについては、親子で選びやすくなればいいなと思いました。</p>
平岡館長	<p>新しく備品を購入するのは難しいところですが、工夫できることから進めていきたいと思いますので、またご意見を頂戴できたらと思います。</p>
芳賀委員	<p>宮寺配本所は、地区センター整備後も存続するのでしょうか。読書をしたり、調べ物をしたり、学習したり、近くなので利用したいけれども、今は、そういう場でもないですね。存続するのなら、もう少し整備してもらい、使いやすくしてほしいと思います。</p>
平岡館長	<p>来年度から公民館については地区センターとなります。 地区センターになっても宮寺配本所は継続することとなっています。環境の整備については今後も考えてまいりたいと思います。</p>
清水会長	<p>他に何かありますか。</p>

